

公教会祈禱文

カトリック中央協議会編

目

録

主要なる祈

主 禱 文

天 使 祝 詞

栄 唱

使 徒 信 經

信 德 唱

望 德 唱

愛 德 唱

痛 悔 の 祈

告 白 の 祈

天 主 の 十 戒

公教会の六つのおきて

御告げの祈

アレルヤの祈

呼 禱

日常の祈

起床時の祈

朝の祈

始業の祈

終業の祈

食前の祈

食後の祈

夕の祈

就床時の祈

聖堂に出入りする時の祈

射 禱

ミサの祈

ミサにあずかるを得ざる時の祈

聖体拝領前後の祈

キリストに向う祈

十字架上のイエズスに向う祈

自己を献ぐる祈

靈的聖体拝領の祈

告白前後の祈

告白場にいたりての祈

十字架の道行の祈

ロザリオの祈

連 禱

イエズスの聖名の連禱

イエズスの聖心の連禱

聖マリアの連禱

聖ヨゼフ連禱

諸聖人の連禱

天主の御恵みを感謝する祈

テ・デウム

マゲニフィカト

聖会暦年中の祈

待降節の祈

御降誕節の祈

幼きイエズスを訪い奉る祈

新年の祈

御公現の祈

四旬節の祈

イエズスの御受難を崇むる祈

悲しめる聖母に対する祈

御復活節の祈

御昇天の祈

聖霊降臨節の祈

聖霊の御降臨を望む祈

三位一体の大祝日の祈

聖体に対する祈

聖体に対する聖トマの祈

オ・サルタリス

アヴェ・ヴェールム

パンジエ・リングワ

聖体降福式の時の讚美

聖体を訪い奉る時の祈

イエズスの聖心に対する祈

人類の忘恩に対する償いの祈

イエズスの聖心に家庭を献ぐる祈

聖心の侮辱を償う決心の祈

すべての人の心の王たるキリストに向う祈

イエズスの聖心に人類を献げ奉る祈

聖母マリアに対する祈

聖母の御保護を求むる祈

聖母に一切を託する祈

聖母の汚れなき御心に日本を捧ぐる祈

聖マリアに身を捧ぐる祈

暁の星なる聖母に対する祈

聖ヨゼフに対する祈

聖会の保護者聖ヨゼフに向う祈

聖ヨゼフに向いて貞徳を求むる祈

大天使聖ミカエルに向う祈

守護の天使に向う祈

天使の保護を求むる祈

聖ペトロと聖パウロとに対する祈

日本二十六聖殉教者の信仰を求むる祈

聖アンナに対する祈

聖フランシスコ・ザベリオにならいて善徳を求むる祈

幼きイエズスの聖テレジアの精神を求むる祈

種々の祈

教皇のためにする祈

父母のためにする祈

子女のためにする祈

聖家族に対しておのが家族のためにする祈

御召を求むる祈

司祭のための祈

洗礼志願者のための祈

不信者の改心を求むる祈

洗礼の約束を新たにする祈

救霊に係わるすべての恵みを求むる祈

完全なる痛悔の祈

信仰の一致を求むる祈

幼児を献ぐる祈

よき収穫を願う祈

死を甘んじ受くる祈

病者のための祈

病人の快復を求むる祈

死に臨める人々のためにする祈

病中忍耐の徳を求むる祈

終油の秘蹟を受くる前の祈

終油の秘蹟を受けたる後の祈

重病人のためにする祈

臨終の時の心得

臨終の祈

最終の祈

死者のための祈

靈魂肉身を離れたる後の祈

司祭不在の時の葬式

すべての死者のための祈

デ・プロフンデイス

通夜の時の祈

死者のためのミサの祈

主要なる祈

十聖父と聖子と聖霊との御名によりて。アーメン。

主 禱 文

天にましますわれらの父よ、願わくは御名の尊まれんことを、御国の来らんことを、御旨の天に行わるる如く地にも行われんことを。われらの日用の糧を、今日われらに与え給え。われらが人に赦す如く、われらの罪を赦し給え。われらを試みに引き給わざれ、われらを悪より救い給え。アーメン。

天 使 祝 詞

めでたし、聖寵充ち満てるマリア、主御身と共にまします。御身は女のうちにて祝せられ、御胎内の御子イエズスも祝せられ給う。天主の御母聖マリア、罪人なるわれらのために、今も臨終の時も祈り給え。アーメン。

栄 唱

願わくは、聖父と聖子と聖霊とに栄えあらんことを。始めにありし如く、今もいつも世々にいたるまで。アーメン。

使 徒 信 経

われは、天地の創造主、全能の父なる天主を信じ、またその御独り子、われらの主イエズス・キリスト、すなわち、聖霊によりて宿り、童貞マリアより生まれ、ポンシオ・ピラトの管下にて苦しみを受け、

十字架に付けられ、死して葬られ、古聖所に降りて三日目に死者のうちよりよみがえり、天に昇りて全能の父なる天主の右に坐し、かしくより生ける人と死せる人とを裁かんために来り給う主を信じ奉る。
われは聖霊、聖なる公教会、諸聖人の通功、罪の赦し、肉身のよみがえり、終わりになき命を信じ奉る。アーメン。

信 徳 唱

真理の源なる天主、主は誤りなき御者にましますが故に、われは主が公教会に垂れて、われらに諭し給える教えを、ことごとく信じ奉る。

望 徳 唱

恵みの源なる天主、主は約束を違えざる御者にましますが故に、救世主イエズス・キリストの御功德によりて、その御約束の如く、われに終わりなき命と、これを得べき聖寵とを、必ず与え給わんことを望み奉る。

愛徳唱

愛の源なる天主、主は限りなく愛すべき御者にましますが故に、われ、心を尽くし力を尽くして、深く主を愛し奉る。また主を愛するがために、人をもわが身の如く愛せんことを努め奉る。

痛悔の祈

ああ天主、われ、主の限りなくきらい給う罪をもって、限りなく愛すべき御父に背きしを深く悔み奉る。御子イエズス・キリストの流し

給える御血の功德によりて、わが罪を赦し給え。聖寵の助けをもって今より心を改め、再び罪を犯して、御心に背くことあるまじと決心し奉る。アーメン。

告白の祈

全能の天主、終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ、および諸聖人にむかいて、われは思ひと言葉と行いをもつて多くの罪を犯せしことを告白し奉る。これわがあやまちなり、わがあやまちなり、わがいと大いなるあやまちなり。これによりて、終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ、聖パウロ、および諸聖人に、わがためにわれらの主なる天主に、祈られんことを願ひ奉る。

願わくは全能の天主、われらをあわれみ、われらの罪を赦して終りなき命へ導き給え。　アーメン。

願わくは全能にして慈悲なる主、われらをあわれみ、罪の赦しを与え給え。　アーメン。

天主の十戒

- 第一　われはなんじの主なり。われを唯一の天主として礼拝すべし。
- 第二　なんじ、天主の名をみだりに呼ぶなかれ。
- 第三　なんじ、安息日を聖とすべきことをおぼゆべし。
- 第四　なんじ、父母を敬うべし。
- 第五　なんじ、殺すなかれ。
- 第六　なんじ、かんいんするなかれ。
- 第七　なんじ、盗むなかれ。

第八 なんじ、偽証するなかれ。

第九 なんじ、人のつまを恋うるなかれ。

第十 なんじ、人の持ち物をみだりに望むなかれ。

公教会の六つのおきて

第一 主日と守るべき祝日とを聖とし、ミサ聖祭に与るべし。

第二 少なくとも年に一度は必ず告白すべし。

第三 少なくとも年に一度は御復活祭のころに聖体を受くべし。

第四 定められたる期日には大齋を守るべし。

第五 金曜日およびその他定められたる期日には小齋を守るべし。

第六 各々の分に応じて教会維持費を負担すべし。

御告げの祈

(朝、昼、晩、ひざまずいて唱える。ただし日曜はその前晩から起って唱える。)

主の御使いの告げありければ、
マリアは聖靈によりて懐胎し給えり。

天使祝詞 一回

われは主のつかいめなり。
仰せの如くわれになれかし。

天使祝詞 一回

しかして、御言葉はひととなり給い、
われらのうちに住み給えり。

天使祝詞 一回

主の聖母われらのために祈り給え。
キリストの御約束にわれらを

適わしめ給え。

祈願 主よ、われら天使の告げを以て、御子キリストの御託身を知りたれば、願わくはその御苦難と十字架とによりて、ついに御復活の栄えに達するを得んため、われらの心に聖寵を注ぎ給え。われらの主

キリストによりて願ひ奉る。　アーメン。

アレルヤの祈

(御復活の祝日の前日の昼から三位一体の祝日の前日

の昼まで、御告げの祈りに代え起つて唱える。)

天の元后喜び給え。　アレルヤ。　御身に宿り給いし者は。　アレルヤ。
宣える如くよみがえり給えり。　アレルヤ。　われらのために天主に祈
り給え。　アレルヤ。

童貞マリア喜び給え。　アレルヤ。　主まことによみがえり給いたれ
ばなり。　アレルヤ。

祈願　聖子イエズス・キリストの御復活をもつて世界を喜ばしめ給
いし天主、願わくはその御母童貞マリアによりて、終りなき命の喜び
をわれらに得しめ給え。　われらの主キリストによりて願ひ奉る。　ア

ーメン。

呼 禱

至聖なるイエズスの聖心、 われらを憐れみ給え。

心の柔和、 けんそんなるイエズス、 われらの心を聖心にあやからしめ給え。

聖マリアの汚れなき御心、 われらのために祈り給え。

大天使聖ミカエル、 われらのために祈り給え。

聖ヨゼフ、 われらのために祈り給え。

聖フランシスコ・ザベリオ、 われらのために祈り給え。

幼きイエズスの聖テレジア、 われらのために祈り給え。

日本の尊き殉教者、 われらのために祈り給え。

日常の祈

起床時の祈

+ 聖父と聖子と聖霊との御名によりて。アーメン。

朝まだきにわが心

主をあこがれてめざむ。(詩六十二)

イエズス・キリスト、祝せられさせ給え。イエズス、マリア、ヨゼフ、この日と一生とを御手にゆだね奉る。

+ 聖父と聖子と聖霊との御名によりて。アーメン。

朝の祈

+ 聖父と聖子と聖霊との御名によりて。アーメン。

天主の御前に出でて恭しく礼拝せん

三つのペルソナにましますいとも尊き唯一の天主、今主のことに
いますことを信じ、謹み敬いて礼拝し、主の無上なる御靈威に対して、
尽すべき尊敬を献げ奉る。

御恵みを感謝しわが身を献げん

主の今までわれに賜いしもろもろの御恵みを感謝し奉る。わが生
きながらえて今日にいたれるは、ひとえに主の賜物なれば、この日も
また主に仕え、わがすべての思い、言葉、行い、苦楽を主に献げ奉る。
願わくは、何事も主を愛する精神をもってなさしめ、一に主の御栄え
とならしむるよう、聖寵を垂れ給え。

注意。その日の祈り、善行によつて得られる免償を、ことごとく受ける決心を新たに

する。

罪を避け徳を修むる志しを立てん

崇むべきイエズス、主はわれらの達せんと努むべき、完徳の鑑みにましますば、われひたすら主にならひ、柔和、けんそん、貞操、熱心、堪忍、慈しみなどを体し、ことに今までしばしば犯したる罪を、今日再び犯さざらんことを努め、これを改むるに力を尽さんと決心し奉る。

必要なる御恵みを天主に願わん

主はわが弱きを知り給う。聖寵によらざれば何事もかなわざるが故に、必要に応じてこれを施し給え。主の戒め給うすべての悪を避け、命じ給う善を行い、御摂理によりて、われに与え給う数々の苦しみを

甘んじて堪え忍ぶ力を授け給え。

主 禱 文 (一 頁)

天 使 祝 詞 (二 頁)

栄 唱 (二 頁)

使 徒 信 經 (三 頁)

信 德 唱 (四 頁)

望 德 唱 (四 頁)

愛 德 唱 (五 頁)

聖母、守護の天使、保護の聖人に代禱を請わん

天主の御母にましまして、またわが母なる童貞聖マリア、われ御手によりすがりて御保護を願ひ、ひとえに御あわれみを請ひ奉る。 慈しみ深き御母、わが危うき時には助けとなり、苦しむ時には慰めとな

り、今日、毎日、ことに臨終の時、天主なる御子の御前にて、わがために代禱者となり給え。忠実にして、親愛なるわが守護の天使、われを照らし、主の御おきてに反かざるようわが歩みを導き給え。

わが靈名の聖人、地においては、御身にならいて天主を愛し、天においては、共に終りなく天主を讚美するを得んために、われを守り、かつわがために祈り給え。

天主の十戒

(八 頁)

公会衆の六つのおきて

(九 頁)

イエズスの聖名の連禱

(一三九頁)

始業の祈

聖靈来り給え、信者の心に充ち給え。 主の愛熱の火をわれらに燃えしめ給え。

主よ、聖霊を遣わし給え、しかしてよろずの物は造られん。 地の

面は新たにならん。

祈願 聖霊の光りをもつて信者の心を照らし給いし天主、同じく聖霊をもつてわれらに正しきことを悟らしめ、その御慰めによりて常に喜ぶを得しめ給え。われらの主キリストによりて願ひ奉る。 アーメン。

原罪なくして宿り給いし聖マリア、御身に依り頼み奉るわれらのために祈り給え。

終業の祈

天主の聖母の御保護によりすがり奉る。いと尊く祝せられ給う童貞、必要なる時に呼ばわるを軽んじ給わず、かえつてすべての危うきより、常にわれらを救い給え。アーメン。

食前の祈

主、願わくはわれらを祝し、また主の御恵みによりてわれらの食せんとするこの賜物を祝し給え。われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

十聖父と聖子と聖霊との御名によりて。アーメン

食後の祈

とこしえにしろしめし給う全能の天主、数々の御恵みを感謝し奉る。アーメン。

願わくは死せる信者の靈魂、天主の御あわれみによりて安らかに憩わんことを。アーメン。

夕の祈

十聖父と聖子と聖靈との御名によりて。アーメン。

天主の御前に出でて恭しく礼拝せん

ああ天主、主の無上なる御靈威に対し、へりくだりの心をもつて謹みて礼拝し奉る。主は極めてまことなる御者にましますば、われ深く主を信じ奉る。いたって仁慈なる御者にましますば、われ厚く主を頼み奉る。限りなく愛すべき御者にましますば、われ心を尽して主を愛し奉る。また主を愛するがために、人をも我が身の如く愛せんことを努め奉る。

御恵みを感謝せん

天主のわれに賜いし御恵みをいかにして報い奉らんや。主は永遠よりわれを愛し、無よりわれを造り出し、御子の御血をもつてわれをあ

がない、日々に数々の御恵みを下し給う。願わくはもろもろの天使、
聖人、われと共に、かく卑しきわれを恵み給うあわれみ深き天主を讃
美せんことを。

罪を弁え知る聖寵を天主に願わん

永遠の光の源にまします聖霊、わが心の暗をてらして、今日犯した
る罪とその汚れとを弁え知りて、主のこれをきらい給う如くわれもき
らい、かつ何事よりも罪を犯すことを、いたく恐るるを得しめ給え。

今日犯したる罪を吟味せん

天主に対し。祈りを怠りもしくはゆるがせにし、あるいは祈りの時に知りつつ心を散
らし、聖寵の勧めに背き、聖堂において不敬をなし、故なく他人をはばかりて信仰の勤
めを怠り、天主の御摂理をつぶやき、依り頼む心を失いて天主に委せざるなどのことな

かりしや。

他人に対し。偽り、邪推、あなどり、憎み、恨み、ねたみ、あだがえし、怒り、けんか、口論、辱め、そしり、さんげん、あざけりなどをなし、人の財産を損い、名譽を害し、悪しき例しとなりて人をつまずかせ、敬うべき人を敬わず、正しき命令に従わず、愛徳にもとり、忠実、信義を尽さざるなどの事なかりしや。

おのれに対し。高慢心を起し、虚栄心かられ、偽善を行い、思い、望み、言葉、行いなどをもって清浄を損い、柔和を失い、怠惰に流れて空しく時を費やし、職務を怠り、飲食の度を過すなどのことなかりしや。

痛悔の祈 (五頁)

告白の祈 (六頁)

主 禱 文 (一頁)

天使祝詞 (二頁)

使徒信經 (三頁)

栄 唱 (二頁)

御保護に身を委ねん

主よ、われさらによく主に仕えんために、今しばらく寝みてわが力を補わんと欲す。願わくは、わが寝むを祝し給え。またわが依り頼み奉る聖母、守護の天使、保護の聖人、わがために祈り、今夜、終生、ことに臨終の時にわれを護り給え。アーメン。

生ける人と死せる人とのために祈らん

主願わくはわが親族、恩人、友人、またわれに害を加えんとする者にも御恵みを垂れ給え。なおわれらの靈魂を司どる人々と、肉身を司どる人々とを助け給え。貧しき者、禍いに遭う者、身寄りなき者、病める者、および死に臨める者をあわれみ給え。主を知らざる者に救霊の御恵みを下し、また煉獄に苦しむ靈魂に御あわれみを垂れ、ことにわれらに縁あるものの靈魂に終りなき幸いを与え給え。アーメン

平安を求むる祈

主よ、願わくはこの住家をみそなわし、あだの謀計を遠ざけ給え。また主の御使いをこの住家に降し、われらを安らかに守らしめ、主の御祝福を常にわれらの上にあらしめ給わんことを、われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

諸聖人に向う祈

天国の永福を得たる諸聖人よ、われらの主なる御父に祈り、われらに大罪を免れしめ、主の御心に適うを得しめ給え。

聖マリアの連禱 (一五三頁)

就床時の祈

イエズス、マリア、ヨゼフ、心と靈魂とを御手に委せ奉る。

イエズス、マリア、ヨゼフ、臨終のもだえの時に、われを助け給え。

イエズス、マリア、ヨゼフ、御保護のもとに、安らかに息絶ゆるを得しめ給え。

守護の天使、保護の聖人、われを照らし、守り、導き給え。

聖堂に出入りする時の祈

(聖体のまします聖堂においてのみこれを唱う。)

主イエズス・キリスト、主はまことにこの聖ひつのうちにましまし給う。われは天主たり人たる主を礼拝し、讚美し、かつ御身に感謝し奉る。アーメン。

射 禱

(射禱はその名の示す如く、矢を射るような短いけれど力強い祈りであって、多くは免償が付いている。)

わが天主、わがすべてよ。

わが天主、われ心の底より主を愛し奉る。

聖寵によりてわが靈魂のうちに住み給う至聖なる三位一体よわれ主を礼拝し奉る。

わがイエズスよ、あわれみ給え。

イエズス、マリア、ヨゼフ。

イエズスよ、わが天主よ、われ万事に越えて御身を愛し奉る。

いと甘美なるイエズスよ、わが裁き手とならで、わが救い手となり給え。

至聖なるイエズスの聖心、御国の来らんことを。

至聖なるイエズスの聖心、われらの家庭を護り給え。

甘美なるマリアの御心、わが救いとなり給え。

あわれみの御母、われらのために祈り給え。

主イエズス、主の司祭をふやし給え。

ミサの祈

ミサ聖祭にあずかる心得

ミサ聖祭は主イエズス・キリストが十字架にかち得給うた、無量の功德を人々に施すために、御みずから定め給うた至聖なるいえけにえである。それ故、天主の最もよみし給う最上の祈りである。五官には関知せられないが、ミサ聖祭において主イエズス・キリストは、パンとぶどう酒との形色のもとに実際に祭壇に降臨し給い、世のいけにえとなり、人々の靈魂の糧となり給うのである。それ故カルワリオにて主の御苦難を仰ぎ見給うた聖母の御心にならない、聖なる祭を祭壇の司祭と一致して公教会と共に献げなければならぬ。

ミサにあずかる前の祈

主、イエズス・キリスト、われらもしカルワリオにて主の御受難を

見奉りしならば、われらの腸かなしみのために断たるべし。今この祭壇にて行われんとする祭りは、十字架の上にて献げ給いしいけにえと異ならざるものなれば、われらをしてこれに適うべき思いを起し、罪の赦しを蒙り、御旨に従うことを得しめ給え。かつ、主のわれらに向かいて茲に復新たに示し給う御苦難、御死去の功德をこうむらしめ給わんことをひたすら願ひ奉る。

ミサの始まる時の祈

十聖父と聖子と聖霊との御名によりて。アーメン。

いと尊き三位一体の天主、われ主の御名にむかいて礼拝を尽し、感謝を献げ、罪の赦しと主の御恵みとを求めんために、ここに慎みてミサ聖祭にあずかり奉る。願わくは、われらをして司祭と心を合わせて、救霊のいけにえを献げしめ給え。かつ主がわれらのためにカル

ワリオにて御血を流し、苦しみを受け給うを仰ぎ視しならば、われらの必ず起したらんが如き思いを、今ここに起こさしめ給え。

告白の祈 (六頁)

司祭祭壇に上り向つて右側で入祭文を読むときの祈

万物の創造主にまします天主、主に造られたる人々をあわれみ給え。

慈悲深き御父、子たるわれらの罪を赦し給え。

われらのために死し給いし救世主、御苦難の功德をわれらにこうむらしめ給え。

人を聖ならしめ給う聖霊、われらの心を潔め、愛熱の火を燃えしめ給え。

栄光唱

(黒色或いは紫色の祭服を用いる時はこれを唱えない。)

天においては天主に栄えあれ。地においては恵まれたる人々に平安あれ。主なる天主、天の王、全能の父、われら主を称え主を崇め、主の御栄えの大いなるがために感謝し奉る。 拝すべきイエズス・キリスト、御父の御独り子、万物の主、世の罪を除き給わんがため天主より遣わされし子羊、われらの祈を聞き容れ給え。御父の右に坐し給う御者われらをあわれみ給え。そはイエズス・キリスト、主は唯一の聖、唯一の主、唯一の至高者にして、聖霊と共に御父の御栄えのうちにましませばなり。

司祭右側で集祷文を唱え、書簡を読む時の祈

全能の天主、聖母マリアおよび今日祝う聖人の代祷を聞えしめして、

司祭の求むる御恵みを施し給え。されら司祭と心を合わせてわれらのため、ならびにわれらに係わりある人々のために祈り奉る。願わくは、必要の御恵みをわれらに賜いて終わりなき命にいたらしめ給え。われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

慈悲深き天主、主は御身を知らざる人々のうちよりわれらを選びて御教えを示し給いたれば、われら心の底より喜びてこれを受け奉る。預言者および使徒の言葉をもつて伝えられたる御教えを守り、これを實行せんと欲す。こいねがわくは、われらをしていにしえの聖人の如く主に仕え、太祖の如く主を奉じ、預言者の如く主を知り、使徒の如く主を伝え、専ら主を愛して御跡を慕わしめ給え。

司祭左側で福音を奉読するときの祈

主よ、今司祭の読みあぐるは、預言者および使徒の言葉にあらずし

て、イエズス・キリストの御言葉と御行いなることを信じ奉る。たと
い主の御言葉なりと信ずるも、これに従わざれば何の益かあらん。ま
た信仰あるも、愛と善行との勲なくば主の御裁きの前にいかでか罪を
免るべき。われら今御言葉を深く信じ奉るが故に、われらが仕業の御
言葉に適わざりしを責め給うことなく、かえってわれらが信ずるとこ
ろを行う力をわれらに与え給え。

使徒信經 (三頁)

奉獻の祈

限りなく聖なる御父、全能にまします天主、われみずからは御前
に出ずる能わ書ざるものなれども、救世主イエズス・キリストがこの
聖祭を定め給いし時の御旨と、今われらのためにいけえとなりて、御

みずからを献げ給える御旨とに従い、司祭の手をもってパンとぶどう酒との供物を献げ、主が万物の主宰者にましますことをたたえ、われらの罪を償い給わんことをこいねがい、主の賜物なる数々の御恵みを感謝し奉る。

またわれらは罪人にて救わるるに足らざれども、贖罪のいけにえとならせ給えるイエズスの御功德によりて施し給う救霊の恵みを、われらのため、及びわれらの親族、恩人、友人、またわれらの敵のためにもこいねがい奉る。また公教会のため、教皇のため、本教区の司教、司祭、その他、すべてわれらがその權威に服すべき人々のため、および主を信ずる一切の人々のためにこの尊きいけにえを献げて祈り奉る。願わくは死せる信者の靈魂をあわれみ、御子イエズスの御功德によりて、かれらに終わりになき平安を与え給え。慈悲深き御父よ、わが国の上に御恵みを注ぎ給え。主を憎む者を棄て給わざれ。主を知らざる者、主を信ずるもまことの教会に入らざる者およびすべての罪人を

救霊の道へ導き給え。またわれらを憎みて害を加えんとする者にも、御恵みをもって報い給え。われらのかれらに赦す如く、われらの罪をも赦し給え。アーメン。

司祭祭壇中央で序唱を唱える時の祈

救世主イエズス・キリストの来り給うべき時近ずけり。主願わくはわれらの心に聖霊を満たし、専ら主のことをのみ思わしめ給え。全能の御父、永遠の天主はいずれの時にても、いずれの処にても、讚美せらるべきかな。天使は主の御前に礼拝し、聖人は主を讚美す。今やわれらがつたなき声をもこれに合わせて讚美するを許し給わば、われら喜びに堪えずして歌わん。

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の天主、主の御栄えは天地に充ち満てり。いと高き処にいます御者は尊まれさせ給え。主

の御名によりて来り給う御者は、祝せられさせ給え。

司祭典文を奉読する時の祈

あわれみ深き御父よ、今献げまつる供物を祝し、これをよみし給いて公教会を守り、教皇、司教およびすべての信者を恵み給わんことを御子キリストによりて願ひ奉る。わけてもここに集まれる人々、および目上、親族、恩人、友人を恵み、またわれらに祈りを求むる人々を顧み給え。われらの主イエズス・キリストの御母、終生童貞なる聖マリア、使徒殉教者、聖人たちと心を合わせて、われらこの供物の、御旨に適うものとならんことを願ひ奉る。

パンとぶどう酒との献げものにえんしゅする時の祈

主よ、願わくはいにしえの聖人が救世主を待ち望み奉りし熱心をわ

れらの心に充たし、その信仰を愛とをわれらに燃えしめ給え。　主イエズス・キリスト来り給え。いと妙なる御業をなし給え。天主の子羊、罪の世をあがなえる尊きいけにえは、今この祭壇に臨み給う、あ
あありがたき御慈しみなるかな。

聖　　変　　化

聖変化とは司祭の言葉によりパンとぶどう酒との形色は残るが、その本体がイエズス・キリストの御体と御血に変化することであつて、これにより主がいけにえとして祭壇の上に来たり給うのであるから熱心に礼拝しなければならぬ。

聖体奉挙の祈

（この祈りは発声しない。）

救い主イエズス・キリスト、一切の人を救はん為に十字架にくぎ付けにせられ給える御体を、謹みて拝し奉る。

救い主イエズス・キリスト、一切の人を救わんために十字架の上にて流し給える御血を、謹みて拝し奉る。

(なお聖体を仰ぎながら「ああわが主、わが天主よ」と心のうちになえて免償を受けることができる。)

聖体奉挙後の祈

全能なる天主、主はこの聖祭をもつてイエズス・キリストのご受難の苦しみおよびご復活の栄えをわれらに追懐せしめ、われらのために傷つけられ給えるその御体と流させ給えるその御血をば、今現に祭壇の上に供え給えり。主の御みずからわれに与え給える、この聖く尊きいけにえを、今謹みて御前に献げ奉る。旧約の祭りは、ことごとくこのいけにえの象りたるものにて、このいけにえのみ、善く御心に適う御子イエズス・キリストの、御体と御血なれば、この聖祭にあずか

る人々に、その御功德をこうむらしめ給え。

また司祭と心を合わせて死せる信者の靈魂のために祈り奉る。ことにわれらに係わりある者に、この尊きいけにえによりてその苦しみを逃れしめ、終りなき平安を与え給え。あわれみ深き御父、罪人なるわれらにも、この恵みを施して、ついに主の使徒、殉教者、諸聖人たちと共に住み、共に終りなく主を愛し、かつ讚美するを得しめ給え。

主 禱 文 (一頁)

(聖体を拝領するものはすぐに聖体拝領前の祈り(六二頁)を唱えてもよい。)

神羔唱を唱える時の祈

世の罪を除き給う天主の子羊、	われらをあわれみ給え。
世の罪を除き給う天主の子羊、	われらをあわれみ給え。

世の罪を除き給う天主の子羊、
われらに平安を与え給え。

靈的聖体拝領の祈

(ミサ聖祭以外でもこの祈りをもって靈的聖体拝領とすることができる)

救世主イエズス・キリスト、主は聖体をもってかたじけなくも靈魂の糧となり給い。「わた肉を食し、わが血を飲む人はわれに止まりわれもまたこれに止まる」と宣えり。われは今この幸いを得ざれども、願わくは、わが望みをみそなわし、聖寵を垂れてわが心に来り給え。尊き聖体の御功德によりて信仰を強め徳を増し、愛熱を燃やし、専ら主の御ために生きながらえて力を尽くすことを得しめ給え。

司祭右側で聖体拝領後の文を唱える時の祈

主はわれらを救わんがためにいけにえとなり給いたれば、われらも、主の御栄えのためにみずからいけにえとならんと欲し、御旨のままにわが身を献げ奉る。　主の御摂理によりて、来るべき苦難を甘んじ受け、主のこれに勝ち給いし如く、われも同じくこれに勝たんと欲す。

今聖祭によりて、わが心の潔められしをかたじけなく思い、今より後、主と共に生きんがために主の御戒めを守り、たといわがすべての持ち物を失い、またいかなる苦難に遭うとも、主に背くまじと決心し奉る。

祝福の時の祈（黒色の祭服の時はこれがない）

主よ、司祭の手をもってわれらを祝し、　祝福の御恵みを、常にわれらの上にあらしめ給え。

十聖父と聖子と聖霊との御名によりて。　アーメン。

司祭左側で終りの福音を奉読する時の祈

御言葉にまします天主なる御子、主は天の道を示し給わんために天降れる御光にましますを、世は主のまことの救い主なるを信ぜず、また主の御恵みを軽んじて天主の子となるを好まざりき。されどわれらは御光にしたがい天主の子たらんと欲す。主はわれらを救わんために、人となり給える天主にてましますば、われらこれを信じてひとえに依り頼み奉る。われらが潔められて天国に昇り、永遠に主と共にあるを得んために、必要な聖寵を豊かに与え給え。アーメン。

聖会のための祈

(教皇の命にて読唱ミサの後に唱う。歌ミサ、または私唱ミサの後に祭式がある場合にはこの祈りを唱えない。)

天使祝詞 三回

元后、あわれみ深き御母、われらの命、慰め、および望みなるマリヤ、われらちくたくの身なるエワの子なれば、御身に向かいて呼びわり、この涙の谷に泣き叫びて、ひたすら仰ぎ望み奉る。ああわれらの代願者よ、あわれみの御眼もてわれらを顧み給え。またこのちくたくの終らん後、尊き御子イエズスをわれらに示し給え。寛容、仁慈、甘美にまします童貞マリヤ。

天主の聖母、われらのために祈り給え。キリストの御約束にわれらを適わしめ給え。

祈願 われらの依り頼みと力とにまします天主、御あわれみを垂れ主に叫ぶこの民を顧み給え。永福にして原罪なき童貞天主の聖母マリヤ、その浄配聖ヨゼフ、使徒聖ペトロ、聖パウロおよび諸聖人のとりなしにより、罪人の改心、および、母なる公教会の自由と栄えとのために捧げまつるわれらの祈りを御慈悲をもって聴き容れ給え。われら

の主イエズス・キリストによりて願ひ奉る。　アーメン。

大天使聖ミカエル、戦いにおいてわれらを護り、悪魔の凶悪なる謀計に勝たしめ給え。天主のかれに命を下し給わんことを伏して願ひ奉る。ああ天軍の総帥、靈魂をそこなわんとてこの世を徘徊するサタン及びその他の悪魔を、天主の御力によりて地獄に閉じ込め給え。アーメン。

至聖なるイエズスの聖心、　われらをあわれみ給え。　三回

ミサの後の祈

主よ、われらを多くの人のうちより選びてミサ聖祭にあずからしめ給ひし御恵みを深く感謝し奉る。　われらが卑しき身をもって、主の御前に犯したる罪を赦し、この聖祭の功德をもってわれらの心を潔め、かつ堅固ならしめ給え。　われら今主の御旨に従いて業につかんとする

に当り、すでにこうむりたる御恵みを忘れず、聖祭の功德を、永く失わざらんため、思い、望み、言葉、行いを、すべて謹まんと決心す。こいねがわくはこの決心を祝し給え。アーメン。

ミサにあずかるを得ざる時の祈

(主日と守るべき祝日とに、ミサにあずかることができない場合はロザリオ一環とこの祈りを唱えることをすすめる。)

救世主イエズス・キリスト、主はこの世に天降りて人となり三十三年の間、清貧、けんそん、忍耐などの徳を行い、御みずから模範となりて天への道を教え、また世の罪を償わんために無量の苦難を忍び、十字架の上に御命を棄て給えり。主の御慈しみは厚く、御あわれみは深きかな。

主はこの世を去らんとする前の日に、十二使徒と夕食を共にし、御みずからパンを取り、全能の聖父を仰ぎ、これを祝して裂き、使徒たちにて与えて宣わく、「なんじら受けてこれを食せよ。これなんじらのためにわたさるるわが体なり」と。次にさかずきを取り、これを祝し使徒たちに与えて宣わく、「なんじら皆受けてこれを飲め。これなんじらと人々との罪の赦しのために流さるる新約のわが血なり。なんじらわが記念としてこれを行え」を。かくてパンとぶどう酒との形色のもとに、主の御体、御血、御靈魂、および天主の尊き本性をわれらに遺して御みずからミサ聖祭を定め給えり。主は聖祭のうちに天下降りて尊きいけにえとなり、天主なる御父に献くべき、礼拝、感謝などをわれらのために尽し、御苦難御死去の御功德を、あまねく施しましたこの聖祭により、主はわれらと共にましまし、われらの主は靈魂の糧となり給う。

ミサ聖祭にあずかる者は、かくの如き御恵みを受く。われ今この幸いを望みて限りなき御恵みを求め奉る。聖マリア、使徒聖ヨハネ、聖マリア・マグダレナがカルワリオにて主の御死去を仰ぎ見。御功徳をこうむりし如く、ミサ聖祭にあずかるものはまた主の御苦難、御死去を記念し、等しくその御功徳をこうむるを得るなり。われ今聖祭にあずかる能わざれば深くこれを望み、謹みて主の御苦難と御死去とを追懐し、その御功徳を与えられんことをひとえにこいねがい奉る。

われまた聖体を受くるを得ざれども、聖寵を賜い、われをして再び罪を犯して主を離るることなく、主にならいて、けんそん、潔白、忍耐、仁愛などの徳を修めしめ給え。また悪魔の誘いを避け、情欲に勝ち、主の平安を保ち、地獄の終りなき苦しみを恐れ、天国の限りなき樂しみを求め、心を尽し、力を尽し、専ら主を愛し奉ることを得しめ給え。アーメン。

聖体拝領前後の祈

聖体拝領前の祈

信仰を起さん

天地の創造主、万民の救世主なるイエズス、主今われに臨み給いて、われ主を受け奉る幸いをこうむらんとす。もし主御みずから宣いし御言葉あるにあらずば、たれかかくの如き玄義を信ずるを得るんや。われはこの秘跡のうち主のまことにましますことを信じ奉る。すなわちわれらのために生まれ、十字架に付けられて死し、また天国の限りなき栄えのうちにいまし給うわが救い主、今このパンの形と色とのうちにましますとわれは深く信じ奉る。主よ、われは信じ奉る。されどわが信仰の弱きを助け給え。

けんそんの心を起さん

無上の御靈威を備え給う天主、いかなればこの卑しきわれを顧み給うや。われいかなるものなれば主のわれに臨み給う幸いを得るや。

われは、数々の罪を犯し、身も心も汚れたる者なればいかにして聖なる天主に近づき、天主のパンを食するを得ん。

われはこの御恵みを受くるに足らざるにより、百夫長にならい謹みて言わん。主よ、われは不肖にして、主をわが家に迎え奉るに堪えず、ただ一言を宣わば、わが心いえん。

痛悔を起さん

あわれみ深き天主、主は罪人なるわれより遠ざかり給うべきに、かえってわれに臨み給わんとす。われいたく御慈悲に感じ主に背きしを深く悲しみ、再び罪を犯さじと決心し、ひとえに御赦しを願ひ奉る。

愛すべき天主、われを慈しみて主に近づくを得しめ給うにより、願わくは、わが汚れを荒いて、心を新たならしめ給え。

信賴の心を起さん

主の全能と全善とに感じ、われは深き信賴の心をもつて御前に進まんとす。主は御約束の如くわが乏しきを助け、わが求めを充たさんとして招き給えば、御言葉に応じ、謹みて近づき奉る。われ弱く、貧しく、盲目なるにより、願わくは、われを強め、助け、照らして新たにし給え。救い主来たり給う、われ頼もしく主を迎え奉る。

望みを起さん

至善なる天主、われを主に一致せしめんためにかたじけなくもわれに臨み給う。愛すべきイエズス、来り給え。救い主の、拝むべき御

体と、尊むべき御血、来りてわが靈魂の糧となり給え。われ主を受くるに足らざれども、ただ一言をもつて、われを潔め給え。わが主を受くる準備をなせしかども、なお足らざるを補いて、わが心を和らげ愛の熱を燃えしめ給え。主イエズス、願わくは来り給え。

司祭が聖体を示す時、百夫長にならうて胸を打ちながら三回左の祈りを唱える。

主よ、われは不肖にして、主をわが家に迎え奉るに堪えず、ただ一言を宣わばわが心いえん。

聖体拝領後の祈

聖体拝領後の心得

聖体拝領後は自分が至聖なる天主の住み給う神殿に等しいと思ひ、謹んで他念を防ぎ十五分位は聖堂において祈るべきである。

礼 拝 せ ん

拝すべき天主、天においても地においても、すぐれて大いなる者すら、御前には出ずるに足らず。ましてわが如き卑しき者をや。ただ御前に黙し、謹み敬いて、全くおのれを無にひとしきものと思つうほか、別になすべきところなきなり。

聖なる天主、われ主の最上の御靈威と御栄えとをうやうやしく礼拝し奉る。御前にありては、すべて力ある者弱り、栄えたる者衰え、光あるもの暗み、ただ至大なる天主のみ限りなく尊く、栄えませり。主の御名によりて来り給える救い主、御栄えを得、崇められ、祝せられ給え。今日かくわれと一致して、わが心のうちに住み給う。いと高き天主の永遠なる御子、尊まれさせ給え。

主の御名によりて来りませる御者、 祝せられさせ給え。

イエズス・キリスト、主は唯一の主にましまし、 ただひとりぬき

んでて高くいませり。

愛を起さん

愛の深き天主、われ主を受け奉る幸いを得たり。ああ御あわれみの深きこといかばかりぞや。われいかにしてかよくこれに応え奉るべき。ただ身を尽して専ら主を愛することを望むのみ。願わくは、主の愛の火をもって、わが心を焼き尽し給え。わが愛する御者われに來り、イエズス御身をわれに与え給えり。願わくは、聖母マリア、諸天使、諸聖人、われをして、イエズスを愛し奉らしめんために、心と愛とをわれに添え給え。われ専ら心を尽し、万事に超えて、主を愛し奉らんと決心す。願わくは、わがこの決心を堅固ならしめ給え。

わが最愛のイエズスはわれにあり。われはイエズスにあるなり。われ主を愛す。主これを知り給う。(ヨハネ二ノ一五)

感謝せん

主の今われに与え給える御恵みを、いかにしてか感謝するを得ん。
主はわれを愛して命を棄て給いしのみならず、今日も御みずからわが心に降りて御体をわれに授け給いたり。甘美なる救い主今われに施し給える、この大いなる御恵みを感謝し奉る。われ今までは、不忠、ひきようなりしかど、今よりは、心を改め、主の御体をわれに授け給えることを永遠におぼえ、主にわが身を全く献げて、終生御恵みに報い奉らんと決心す。

主のわれに与え給える数々の御恵みは、いかにしてかこれに報ゆるを得べき。主の御栄えの大いなるがために、感謝し奉る。

御恵みを願わん

恵みの尽きざる源なるイエズス、主は今御手にあふるる聖寵を注がんとて、わが心にくだり給えり。聖善にして慈悲探き天主、主は全能にましませば、わが貧しきをみそなわして御恵みを施し給え。願わくは、わが肉身を潔からしめ、靈魂を聖ならしめ、主の生と死との御功德をわれにこうむらしめ給え。靈魂を愛し給うイエズス、われと一致して、わがうちに住み給えば、われもまた主と一致して、主のうちに生きんとす。願わくは、主のためにきわまりなく生きながらえしめ給え。愛すべき救い主、われに必要な御恵みをたれ給え。またわれのみならず、わが祈るべき人々にも、この御恵みを施し給え。

主、われを祝し給わずば、われ主を放ち去らしめじ。(創 三三ノ二六)

主よ、御旨のままに、われになし給え。(トピア、三ノ六)

身を献げん

あわれみ深き天主、主のわれにあまたの御恵みを施し、御体を与え給えるは、これわれをして主のものたらしめんためなれば、われも専ら主のものとならんと欲す。されば何を思い、何を謀り、何をなすにも、一に御旨に従い、健康、体力、精神、才能、信用、財産、名譽など、すべてわれに属するものをば、ただ主の御栄えのためにのみ用いんと決心す。主よ、わが精神を御手に委せ奉る。願わくは、わが心をすべて御旨に従わしめ給え。

われは主のしもべにて、主のつかいめの子なり。(智、九ノ五)

遷善の決心を為さん

友のうちにて最も堅忍にして、最も大度なるイエズス、今より後たれかわれをして主より離れしむるを得ん。われは今まで主に遠ざかりし原因を除き去り、聖寵の助力によりて再び罪を犯さじと決心し奉

る。主よ、われこの後、思い、望み、言葉、行いなどをもって、潔白をそこなわず、愛徳に背かざらんことを誓い、主の御名を汚し、堪忍を欠き、人を欺き、憤り、そしるなどのことなく、勤めを怠らずして、専ら主に仕えんことを約束し奉る。また主の忌み給う交際を絶ち、わが心の楽しみにふけらず、人の軽侮と批評とを恐れず、世の誉を望まず、主に背くよりはむしろ御前に死せんと決心す。願わくは、われをして主のものたらしめ、一に主の御栄えのために、生きながらえしめ給え。

キリストに向う祈（聖イゲナシオ）

願わくはキリストの御魂われを聖ならしめ、キリストの御体われを救い、キリストの御血われを酔わしめ、キリストの御側腹より滴りし水われを潔め、キリストの御受難われを強めんことを。 慈愛深きキ

リスト、わが願いを聴き容れ、御傷のうちになれを隠したまえ。主を離るるを許し給わず、悪魔のわなよりわれを護り給え。臨終の時にわれを招き、主の御許にいたらしめ、諸聖人と共に、世々に主を讚美するを得しめ給え。アーメン。

十字架上のイエズスに向う祈

仁慈にしていと甘美なるイエズス、われ御前にひざまずきひれふし奉る。預言者ダヴィドが主につきて、『かれらはわが手わが足を貫き、わが骨をことごとく算えたり』といいし御有様を、今目前に見奉りつつ、心の大いなる愛情と苦痛とをもって、主の五つの御傷をひたすら眺め、かつ心にて思いめぐらし奉る。信望愛の烈しき感情と、わが罪のまことの痛悔と、これを改むる最も固き決心とを、わが心にしみ徹らせ給わんことをひとえに願ひ奉る。

自己を捧ぐる祈 (聖イグナシオ)

主よ、願わくはわが自由を受け入れ給え。わが記憶、わが智恵またわが意志をことごとく受け入れ給え。わが持てるものはみな主の賜物なり。われはすべてを主に返し、主の御旨のままに献げ奉る。

ただ主の聖寵と共に主の御愛をわれに与え給え。さらばわれは充ち足りて、他の何物をもあえて願わじ。

靈的聖体拝領の祈

イエズス・キリスト、われは主が至聖なる聖体の秘跡のうちにましますことを固く信じ、万事に超えて主を愛し、主を受け奉らんことを望む。されど今聖体を拝領すること能わざれば、靈的にわが心に降り給え。主よ、われ主を受け奉りし如く主によりすがりて、わが身を全く主に一致せしめ奉る。願わくは主を離るるを許さず、悪魔のわ

なより救い給え。わが心に主の愛の火を点じ、永遠に主の御ために燃ゆるを得しめ給え。

告白前後の祈

告白前の祈

準備の祈

聖なる天主、主はいつにても罪人の祈りを聴き、その罪を赦し給うにより、われ今心の底より罪を痛悔し、かいしゅんの秘跡をもつて潔められんことを求め奉る。願わくは、わが智恵を照らして罪をことごとく弁えしめ、わが心にくだりて罪を深く悔ましめ、罪を正しく告白せしめてこれが赦しをこうむらしめ給え。

究明の前に聖靈の助けを願う祈

光の源なる聖靈、わが心を照らし、犯せし罪を弁え知らしめ給え。願わくは、この世を去りて主の御前に御裁きを受くる時と等しく、今明らかになが罪を知ることを得しめ給え。聖なる天主、主に対し、他人に対し、おのれとおのが職分とに対して犯したる罪を、ことごとく思ひ出さしめ給え。真理をよみし給う天主、わが心をして私情に暗まざらしめ、あるがままにおのれを弁え知り、主の代理者なる司祭に言ひ現すを得しめ給え。

究明の簡条

(度々かいいしゅんの秘跡を受ける者は夕の祈りの中の究明簡条によってもよい)

天主の十戒に背く罪

第一戒の部

信徳にもとる罪 信仰箇条を故意に疑う事 信仰をぜひ顕わすべき時に当りて顕わさざる事 許しなく公教にもとる書物を読み、またこれを所有し、他人に貸す事 公教会の教理、戒律などをそしりて他人の信仰をつまづかす事 悪しき交際、みだりなる談話などをもつておのが信仰を危うきにいたらしむり事 教理を学ぶを怠る事。

望徳にもとる罪 救霊について失望する事 罪の赦しを得る能わずと思ひ落胆する事 病氣、災難の時天主に頼まずして失望する事 みずから用心せず天主の御慈みを頼み過ぐる事 天主の赦しをこうむるを幸いとして罪を重ぬる事 速に大罪を改めず後日を期してこれを延ばす事。

愛徳にもとる罪 父母、兄弟、親族、友人などに引かされて天主に背く事 他人の貧苦、病難などに遭うを見てこれを救い得べきに救わざる事 他人に悪事をいいつけ、勧め、許し、あるいは賞むる事 他人の悪事を戒め得る時にゆるがせにして戒めざる事 戒むる義務ある人に告ぐべき時にこれを怠る事。

敬神徳にもとる罪 朝夕の祈りをしばしば怠る事 祈りの時故意に心を散らす事 他人の信心をあざけり、あるいは祈りを妨ぐる事 聖堂にて不敬をなし、聖体の御前にて慎みを欠く事 適當の準備なくして秘跡を受け、もしくは受けて後感謝をなさざる事 大罪を持ちながら聖体、堅振、婚姻などの秘跡を受け、聖なるものをけがす罪を犯す事。

迷信の罪 偶像を拜む事 異教の祭を行いまたは札守を持つ事 異教の勤めに（宗教として）くみし、またこれがために特に寄付をなす事 いんし邪教により病気の快復などを祈る事 まじない、占い、日を選び、方角の吉凶、姓名判断などを信じる事。

第二戒の部

天主、聖人、公教会、聖教をそしりののしる事 天主の御摂理をつぶやく事 わが身あるいは他人の身に禍を祈る事 天主の御名によりて不正、不実、あるいは無益なることにつきて誓いをなす事 正しき誓いを破る事 悪をなすを誓う事 立てたる願を破る事。

第三戒の部

（公教会の第一のおきての部参照）

第四戒の部

子の務めにもとる罪 父母を敬わず、悪口をなし、手向いをます事
父母の病氣、老衰及び貧窮などを顧みざる事 父母の正しき命令に従わずしてその心を悲しませる事 父母兄弟に尊き教えを勧めず、その靈魂を救うに心を用いざる事 父母と不和なる事 兄弟姉妹、親族と不和なる事。

親の務めにもとる罪 親たる者子を愛せず、あるいは偏愛をなす事
子の悪事を戒めず、悪しき友と交わるを禁ぜざる事 子を戒むるに暴言をもってし、あるいは暴力を用うる事 子の養育を怠る事 子に聖教を学ばしめず守らしめざる事 子を強いて縁付くる事 子に悪しき例しを示す事。

夫婦の務めにもとる罪 夫婦の不和なる事 夫婦相互の務めを果たさざること。

その他の務めにもとる罪 召使いたる者、主人を軽んじ、正しき命令に背き、主家に害を加うる事 主人たる者、召使いをあわれまず、正しき給料を与えず、その救霊に意を用いざる事 人民たる者、官吏を敬わず、これがないがしろにする事 正しき法律を破る事 納税、教育の義務をよく守らざる事 官吏たる者、公益を計らざる事 信者たる者、教皇、司教、司祭あんどを愛し敬わず、その靈的指導に従わざる事。

第五戒の部

人を殺し、墮胎をなしましたはこれをなさしむる事 自殺をなさんと
思ふ事 みだりに他人を打ち、あるいは傷つけ、害を加うる事 けん

か、争いをなし、あるいは他人を辱しむる事 憎み、恨み、あだがえしの念などを含む事 故なくしてみずから生命の危険を冒す事 これらの事を勧め、あるいはこれをなす人に協同する事 言葉、行いをもつて他人をつまずかせ、その靈魂を害する事 他人の靈魂あるいは肉体になしたる害を償わざる事

第六戒、第九戒の部

おのれひとりあるいは他人と共に貞潔を損う事（その人、縁付きたる者なるかまたは近き親族なる時はこれを言い現わさねばならぬ）
わが身あるいは他人の身に触れて貞潔を損う事 貞潔を損う話をなし、歌をうたい、あるいはこれらを甘んじて聴く事 貞潔を損う書画、その他見苦しきものを見る事 貞潔を損う危険のある場所に近づく事
他人にじゃいんを教うる事 じゃいんのなかだちとなる事 父母もし

くは主人たる者、その子女または召使いにじゃいんの行いあるを見て
ただちにこれを禁ぜざる事 慎みを欠きて他人の心を乱す事 これら
の事をなさんと望み、あるいはなすを欲するにあらざるもその思いを
楽しむ事 避妊の行為をなす事。

第七戒、第十戒の部

強盜、窃盜、すり、詐欺などをなす事 他人の者あるいは共有物を
私する事 盗み物を隠し、あるいはこれ売り買ひする事 請負仕事
を粗略にし、売り買ひに際して人を欺く事 格外に口銭を貪る事 勘
定違いを知りつつ他人に損をかくる事 支払いをわざと滞らせ、ある
いは借財や預り物の返却をなおざりにする事 拾い物を届け出でざる
事 人の財産に損害を加え、預り物を損なう事 約束に違いて人に損
をかくる事 盗み物を返さず、またすべて他人におよぼしたる損害を

償わざる事 これらの事に協同する事 他人の持ち物をみだりに望み、あるいは他人に損害をかけんと思ふ事 団体、国家などに対してこれらのことをなす事 わいろを贈り、またはこれを受くる事 一般に必要なる時に財産、収入などを隠して他人に損害をかくる事。

第八戒の部

裁判官に対して偽証する事 文書または印章の偽造をなす事 言葉、行いをもつて他人を欺く事 偽りを他人に勧むる事 ゆえなく人の落度を語る事 不和の基いとなるべき無益のうわさをなす事 他人の秘密、若しくはその罪を探りあるいはこれを漏らす事 職務上知り得たる秘密を漏らす事 他人のそしり、ざんげんをなし、または甘んじてこれを聴き、止め得る時にこれを止めざる事 そしり、ざんげんを以て他人の名譽を傷つけたる時に、能う限りこれを償わざる事 邪推を

もつてみだりに他人を疑う事。

公教会の六つのおきてに背く罪

第一のおきての部

主日または守るべき祝日に、職業の便利を計りて許可もなく緊急にもあらざるに働く事 主日または守るべき祝日の勤めを妨ぐべき遊戯、娯楽、交際などをなす事 家族あるいは召使いに主日または守るべき祝日を守らしめざる事 ミサ聖祭の主なる部分を欠く事 故なくミサ聖祭に遅刻し、あるいは早退けする事 ミサ聖祭の間に祈りを怠り、または心を留めずして粗略にこれに与る事。

第二、第三のおきての部

年に一度の告白を怠る事 究明を粗略にし、痛悔を起さず、また大罪をありのままに告白せざる事 司祭よりいつけられたる償いを果たさざる事 御復活祭のところに聖体を受けざる事。

第四、第五のおきての部

大齋小齋のおきてを軽んじてこれに注意せざる事 許可なくあるいは理由なくして大齋あるいは小齋を守らざる事。

第六のおきての部

教会維持費の義務を軽んじ、あるいはこれを怠る事。

罪源の部

一、高慢、おのが智恵、力、財産などを誇りてみだりにたかぶる事
他人を軽んずる事 善行によりて他人の賞讃を求むる事 名誉をみだりに望み喜ぶ事。

二、どんよく、おのれの力に依じて施しをなさざる事 りんしよくの
ためおのれまたは他人に必要なものをも欠く事。

三、しつと、他人の幸いを悲しむ事 他人の善事をねたみまたはこれを
妨げ、あるいは妨げんと思ふ事 他人の禍いを喜び、またはひそかに
これを望む事。

四、じゃいん（天主の第六戒、第九戒の部を参照）

五、どんしよく、食べ物、飲み物を過ごし身体を損う事 意識を失う
まで酒に酔う事 酒に酔いて粗暴またはみだらなる言葉、行いをもつ
て他人のために悪しき例しとなる事 酒におぼれて妻子を顧みざる事
飲酒をみだりに人に強うる事。

六、憤怒、気ままに腹を立つる事 争論、悪口、殴打などをなす事
故意に他人の怒りを起すもとなる事。

七、怠惰、職業に励まず、いたずらに時間を費やし、宗教上、家庭上
および社会上の務めをゆるがせにする事 おのが欠点をただすに無関
心なる事

右の個条のほか、各自その本文を全うしたか否かを特に究明する必要がある。たとえ
ば夫婦相互の務め、官公吏、教師、生徒、雇い主、使用人の義務などである。

痛悔の祈

主よ、われは幾度も主に背くまじと決心しながらも、なおしばしば
同じ罪に陥りたることを深く心に恥じいり奉る。いかなれば、われは
御心に逆うを知りつつも、いささかなる事のために、重ねて罪を犯し
たりしぞ。ああわが天主、いと仁慈にして寛容なる御父よ、御身の正

義に従いてわれを罰し給うなかれ。されどわれは罪のために受くべき罰を恐るるよりも、むしろ御心に背きしを恥じて、これを悔み奉る。眞実に痛悔するわが心を見そなわし、おぼえたる罪とおぼえざる罪とをことごとく赦し給え。われ今罪を忌み憎みてことごとくこれを棄つ。もし能わばわが血をもつて罪の汚れを洗い潔め、わが持ち物をことごとく獻げて御心に背きし罪科を償わんと欲す。願わくは、救世主の聖心にたたえられたる御悲しみの一滴くをわれに注ぎ給いて、心の底より罪を悔ましめ給え。

遷善の決心をなさん

主よ、われは不幸にして罪を犯せり。今より後は聖寵の助けによりて、主に背くまじと堅く決心し奉る。われ罪を避くるのみならず、その原因と機会とを避け、ことに習慣、悪意、およびおのれの弱きによ

りてしばしば犯したる罪をもことごとく避けんと欲す。また司祭のわれに示さるる言葉をば、主の御戒めとして、謹みてこれを受け、また約束を結ぶにも皆主に向いてなすものと思ひて堅くこれを守り奉らん。

依り頼む心を起さん

ああ天主、主の限りなき御あわれみと救世主イエズス・キリストの御功德とによるにあらざれば御怒りを免るること能わざるべし。されど主は罪を悔みて告白せんとする罪人のためには御子イエズスの御祈りを聞きすて給わざるなり。仁慈なる御父よ、かく頼もしく思い、眞実とけんそんとをもつてわた罪をもれなく告白し奉る。願わくは司祭が地において与うる赦しを天においても認め給え。

聖母と守護の天使とに御助けを願わん

あわれみ深き御母聖マリア、わが今受けんとする秘跡によりて犯せる罪はことごとく赦され、重ねて罪を犯さざらんために、必要なる聖寵をわがたまに請い求め給え。

忠実なるわが守護の天使、わがさきに倒れしを知り給えば、今まさに起きんとするに当りて、この秘跡により、再び倒れざる力を得んためにわれを援け給え。アーメン。

告白場にいたりての祈

十聖父と聖子と聖霊との御名によりて。アーメン。

われ、霊父の祝福をこいねごう。

(全能の天主、終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ・聖パウロ、諸聖人および霊父に向いて、われは思いと言葉と行いをもつて多くの罪を犯せしことを告白し奉る。)

次にこの前何時告白したか、罪を赦され償いを果たしたかをいい表し、その後犯した罪を告白する。大罪はその事情とその数とを知っている限り言葉少く明瞭に告白する。また司祭の問いがあればこれに答える。告白し終つてから次の様に唱える。

かくおぼえたる罪とおぼえざる罪と洗礼以来犯したる罪とをことごとく痛悔し、これが赦しと償いとのお恵みを請い求め奉る。(これわがあやまちなり、わがあやまちなり、わがいと大いなるあやまちなり。これによりて、終生童貞なる聖マリア、大天使聖ミカエル、洗者聖ヨハネ、使徒聖ペトロ・聖パウロ、諸聖人および霊父に、わがためにわれらの主なる天主に、祈られんことを願ひ奉る。)

他に多くの告白者ある場合は括弧中の部分を告白前に唱えて置く。これをいい終つて後司祭の命ずる勧めと償いとを謹んで聴き、司祭が赦しの言葉を唱え始めたならば痛悔の祈りを唱え、司祭が十字架の印をする時に十字架の印をする。

痛悔の祈

ああ天主、われ、主の限りなくきらい給う罪をもつて限りなく愛すべき御父に背きしを深く悔み奉る。御子イエズス・キリストの流し給える御血の功德によりてわが罪を赦し給え。聖寵の助けをもつて今より心を改め、再び罪を犯して御心に背くことあるまじと決心し奉る。

こうして告白場を退いて、天主から賜った御恵みを感謝する。

告白後の祈

信仰と信頼心とを起さん

あわれみ深き天主、われさきに罪を犯したれども、今かいしゅんの秘跡によりて全く赦されたり。仁慈なる天主、われ今主の代理者より罪の赦しを受けたるが故に、もしわがなせる痛悔にして御心に適いし

ならば、再び聖寵をこうむりしならんと頼もしく思い奉る。今この御恵みを受けたるは、救世主イエズスのわれらのために流し給える御血の功德にして、わが罪の傷のいやされたるは、全く御傷の功力によることと謹みて信じ奉る。

主に感謝せん

われいかにして天主に感謝し、その御恵みに報い奉らん。主はわが罪のために受くべき苦しみに換え、わずかなる償いをもつて、辱くも罪をことごとく赦しかつ忘れ給えり。ああ主は限りなく聖善にして慈悲深き御者にましますが故に、罪人なるわれをかくも恵み給う。われ、今日よりは日々に感謝を献物をし、絶えず主の限りなき御あわれみをたたえ、死するまで主を一心にほめ、至善なる天主、至愛の御父として讚美し奉らん。

罪を避くる決心をなさん

主はすでにわが罪を赦し給いたれば、われなお深く罪を忌み再びこれを犯さじと決心す。願わくはわがこの望みを固くし、罪とその機会とを避け、よき行いをもって御恵みに報いんとするわが決心を保たしめ給え。われもし主の代理者の教えられし手段に従い、聖寵の助けによりておのれに勝ち、身を献げ、靈魂の敵に勝つを得ば、ついに天国において主と共に栄えを得、終りなき福樂をこつむるにいたるならんと頼もしく思い奉る。

司祭の命じた罪の償いを速かに果し、改心の実を証明するために、罪の原因を探りこれを除く手段を考え、ことにこれまでしばしば犯した罪に再び陥る機会を除こうと決心する。

十字架の道行の祈

十字架の道行は恵み多い信心であるから、四旬節中は勿論、他の時節にもこれを行うがよい。なお贖宥を得るためには、必ずしも次のように祈る必要はない。痛悔の心をもつて各留の前で主の御苦難を黙想すればよい。なお、この贖宥を得るためには、各留毎に移動すべきであるが、多数の人々が共同で行う場合は、司祭または先唱者が移動すればよい。

十字架の道行の前の祈

救い主イエズス・キリスト、主はわれらを罪よりあがなわんためにエルザレムにおいて残酷なる苦しみに遭い、恥辱を受け、十字架を担いてカルワリオに登り、衣をはがれてくぎ付けにせられ、二人の盜賊の間に挙げられて死し給えり。われ主のかく苦しみ給える地にもうで、御血に染みたる道を歩みなば、鈍きわが心も主の愛の深きをさとりて

感謝に堪えざるべし。また主の御苦難の原因なるおのが罪の重きを知りて、たれか痛悔の情を起こさざるものあらん。われかかる幸いを得んと欲すれども能わざれば、かの地のかたみなるこの十字架の道を歩まんとす。されどわれもし聖寵をこうむらずば、愛と痛悔との情を起す能わざるにより、願わくは御恵みをくだして、主の御苦しみをわが心に感ぜしめ、かつて聖母マリアおよび主の御跡を慕いし人々の心に充ちあふれたる悲しみをば、わが心にもしみ透らせ給え。またわれをして今より深く罪を忌みきらいて全くこれを棄て、愛をもつて主の御慈愛に報い、主の御ために、苦難を甘んじ受くるを得しめ給え。なおこの十字架の道を、ふさわしき心もて行く人々に施さるる贖宥をわれにも、また煉獄に苦しむ靈魂にも、与え給わんことをひとえにこいねがい奉る。

ああ聖母よ、十字架にくぎ付けにせられ給える御子の傷を、わが心に深く印し給え。(各留に進む時これを唱える)

第一留 イエズス死刑の宣告を受け給う

ああ、キリストよ、主は尊き十字架をもつて世をあがない給いしにより、われら主を礼拝し、主を讚美し奉る。

人々は主を捕えてカイファのもとに引き行き、あざけり、御顔につばきし、打ちたたき、次いでピラトの裁判にわたせり。ピラトは群衆の心を和らげんとて主を石の柱に縛りつけ、むち打ち、ついにいばらの冠を御頭に押しかぶせければ、傷つき血流れたり。されど群衆は少しもあわれと思わずして、なおも十字架に掛けよ、十字架に掛けよと大いに叫びたりしかば、ピラトもせん方なくて主に死罪をいいわたすにいたれり。

主イエズス・キリスト、主を死刑に処せしは、ピラトとユデア人とにあらざ、ひつきようこれわれらの罪の業なり。われら今罪を犯す毎に、主に大いなる苦痛を加え、不当の宣告を受けさせ奉るなり。より

てわれらの罪の罰を赦し給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主 祷 文 (一頁)

天使祝詞 (二頁)

栄 唱 (二頁)

主われらをあわれみ給え。 われらをあわれみ給え。

願わくは死せる信者の靈魂、天主の御あわれみによりて安らかに憩

わんことを。アーメン。

ああ聖母よ、十字架にくぎ付けにせられ給える御子の傷を、わが

心に深く印し給え。

第二留 イエズス十字架を担い給う

ああ、キリストよ、主は……。

人々は主を外に引き出だし、荒木もて作れる十字架をかしこくも主の肩に打ち掛くるや、主は御身の傷をもいとい給わず、すこしも拒み

給う御気色なく、引き寄せてこれを担い、柔和にして堪忍深き御姿にてかれらの後より歩ませ給う。

主イエズス・キリスト、主は十字架を担い給うべきにあらず。罪人なるわれらこそ、十字架を担うべき者にはあるなれ。さればわれらは主の御旨によりて、罪を償うがために、この世の苦難を受くべき者なれば、主を鑑みとして、柔和堪忍をもってこれに堪えしめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第三留 イエズス始めて倒れ給う

ああ、キリストよ、主は……。

主はすでにむち打たれ、いばらの冠に刺貫かれ給えるほどに、傷あ
とただれ破れ、あけの血に染みて歩み給いければ、衰弱のあまり足下
よろめき、ついに十字架の重きに堪えずして、傾きかがみ、やがて大

地に倒れ給う。

主イエズス・キリスト、主を倒しまいらせしは一にわれらなり。われら罪に陥りたるによりて、主はかかる苦難を受け給うなれば、われら深くこれを悲しみ奉る。この御苦難の功力によりて、われらを罪より救い給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第四留 イエズス聖母に会い給う

ああ、キリストよ、主は……。

聖母マリアは御子が死罪の宣告を受け給いしを聞き、急ぎ行き給うほどに、途にてあい給えり。あわれ天使の御告げありし昔には似るべくもあらず、あけの血に染み目も当てられぬ主の御姿を見て深く悲しみ給えども是非なし。御子の御苦難に御みずからの悲しみを添えて、われらのために御父天主に献げ給う。

主イエズス・キリスト、聖母マリアの御心を悲しませまいらせしは、
一に罪人なるわれらなり。主は限りなく慈悲深くましませば、幸いに
われらの罪を赦し給え。また主と御母との御心を慰め奉るために、わ
れらに力を尽さしめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第五留 イエズス、シレネのシモンの助力を受け給う

ああ、キリストよ、主は……。

主はかく歩み行き給うほどに、御気力次第に衰えてすでに危うく見
え給えり。されど来りて助けまいらする者もなく、かえつてさまさま
にののしりたたきたりければ、今ははや堪え難くして沈み入り給わん
とす。人々は折しもそこに来合わせたるシレネのシモンに、強いて十
字架を助け担わせ、なおも主を駆りて歩ませ奉れり。

主イエズス・キリスト、主の十字架を担いて、力弱り給いしは、こ

れ全くわれらの罪の重きが故なり。われらこそシモンに代りて十字架を担うべき者なれば、今より一切の苦難を、主の十字架の分としてわれらに受けしめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主禱文、その他前と同じ。

第六留 イエズス、御顔を布に写させ給う

ああ、キリストよ、主は……。

主はなお歩み行き給うほどに、御体も御顔もあけの血に染み給えども人々は少しもあわれまず、ますます荒立ち騒ぎたり。この時ヴェロニカという女群衆のうちより走り出で、主に布を献げければ、主は御みずから御顔を拭い、尊き御面影をその布に写して返し授け給えり。

主イエズス・キリスト、われらの靈魂に聖寵を添え給え。十字架の苦難によりてわれらに御功德を移し給え。われら弱き者なれども、ヴェロニカにならい、世のあざけりを顧みず、専ら主を崇め奉るを得ん

ことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第七留 イエズス二度倒れ給う

ああ、キリストよ、主は……。

主の御力は血と共に減り、今は御足も進みかね、息たえだえにてうつぶせに倒れ給いぬ。ユデア人らはなおもあわれまずして打ちたたき、棄物の如く扱いつつ強いて歩ませ奉れり。

主イエズス・キリスト、われら御血の跡を慕いて、深く愛し奉る。

主の二度倒れ給いしは、われらの悲しむ時に当りて、頼もしき心を失わせじとなり。天に昇る道は十字架の道にて、すなわち苦しみの道なれば、御苦難の功力により、われらをして雄々しき心をもって、歩ましめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第八留 イエズス、エルザレムの婦人を慰め給う

ああ、キリストよ、主は……。

この時主の後よりあまたの人々慕い来り、なかにもエルザレムの婦人は涙にむせびて道すがら泣きければ、主はかれらを顧み、御苦しみを忘れ、慰めて宣わく、「エルザレムの婦人よ、わがために泣くなかれ、なんじらとなんじらの子孫とのために悲しむべし。生木すらかくの如くなれば、まして枯木いかにぞや」と。

主イエズス・キリスト、主は罪なくして苦しみを受け給えり。われらは罪をもつて聖寵を失い、あたかも枯木の如くなれば、必ず地獄の火に燃やさるべき者なり。されどわれらに、おのが罪と人々の罪とのために泣き、痛悔の涙を注がしめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。
アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第九留 イエズス、三度倒れ給う

ああ、キリストよ、主は……。

主はカルワリオの上にいたりてまた倒れ給う。そは人々がかかる苦難を無益になさんことを思い給い、御心細きあまり、深く悲しみ給えばなり。されど主はいずこまでも人々を助けんとて苦難を耐え忍び給う。

主イエズス・キリスト、主は何故に幾度も倒れ給いしぞ。これ全くわれら幾度も罪を犯し、たとひ痛悔を起すとも、また重ねて罪に陥るが故なり。主は三度の後は倒れ給わず。さればわれらをして、主の御功力によりて、この後再び罪を犯さざらしめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第十留 イエズス衣をはがれ給う

ああ、キリストよ、主は……。

ユデア人らはカルワリオにおいて主の御衣をはぎまいらせたり。その時御衣は御傷に付着して痛さに堪え給うべくもあらず、御頭のいはらの冠もさわりなりとて取り除けしを、またもとの如く押しかわらせまいらせたり。そはいと苦しきことなれども、群衆の前にはだをさらさせ給いしは、なおこれにまさりて苦しげに見えさせ給う。

主イエズス・キリスト、御心に適わざることわれらにあらば、御衣の如く脱がしめ給え。わけても高慢、じゃいん、どんよくなどの悪しき心を除き、聖寵の衣を着せ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第十一留 イエズス十字架にくぎ付けにせられ給う

ああ、キリストよ、主は……。

主はすでにくぎ付けにせられんと十字架の上に倒れ、御みずから御手足を延ばし給いたるを、ユデア人らは荒々しくその御手足にくぎを押しあて、かなづちにて打ち付けたり。この時主の御苦しみはいかばかりなりしぞ。御肉は破れ、御血は流れて御力尽き、なお御渴きは堪え給うべくもあらず。さるをユデア人らは少しも心せず、十字架を押し立て、根下を突き固めて立ち去りけり。聖母は始終これを見て涙にむせび、十字架のもとに留まり給う。

主イエズス・キリスト、主はわれらのために、十字架にくぎ付けにせられ給えり。さればわれらもまた、主と共に十字架に付けられんことを望む。たといいかなる苦しみに遭うとも、主を離れざるよう御恵みをくだし給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第十二留 イエズス十字架の上に死し給う

ああ、キリストよ、主は……。

主は二人の盜賊の間に挙げられ給いしが、人々のために御父天主に向いて『かれらはそのなす所を知らざるによりて赦し給え』と宣えり。一人の盜賊はこれを聞きて『願わくは御国にいたらん時われを思い給え』と申したりければ、主は『今日なんじ、われと共に樂園にあらんと宣えり。また十字架のもとに聖母及び御弟子の立てるを見給いて、御母に向い『女よ、御身の子ここにあり』と、また聖ヨハネに向いては『なんじの母ここにあり』と宣い、やがて『事終りぬ』と宣いて、息終えさせ給えり。その時、日はなお高かりしが、世界にわかには夜の如く暗くなりぬ。

主イエズス・キリスト、主の死し給える時に当り、地は震い、日は暗み、墓は開け、死人はよみがえり、岩は裂く。われらこれを思いて心にいたく感ずる所なくんば、きわめてかたくななる者なり。これによりて、今よりわれら再び罪を犯さず、主と共に、この世に死するを

得しめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第十三留 イエズス十字架よりおろされ給う

ああ、キリストよ、主は……。

主はすでに息絶えさせ給いしかば、御体は十字架よりおろされ給えり。聖母マリアは御なきがらを抱き給い、その御色ざし、御顔、御手足、および御脇腹の傷を見て、絶えいるばかり嘆き給う。

主イエズス・キリスト、かくも聖母を嘆かせまつりしは、すなわちわれらなり。ああ罪人なるわれら、いまさらに悔み悲しみ奉る。聖母はわれらのためにいつも母たり給えば、われらはいつも子となりて、忠実を尽すを得しめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

第十四留 イエズス墓に葬られ給う

ああ、キリストよ、主は……。

時にニコデモとヨゼフとはピラトの許しを得て、主の御体を葬らんと御母よりこれを受け、清らかなる布にて包み、新しき墓に葬り奉れり。

主イエズス・キリスト、われらの罪を御墓に隠し給え。われらの心のうちに、主を受け奉り、今よりこの世の楽しみに死し、天国において、主を讚美するを得しめ給わんことを、ひたすら願ひ奉る。アーメン。

主祷文、その他前と同じ。

十字架の道行の後の祈

唯一の希望にして世の救いと栄えなる十字架を崇め奉る。願わくは熱心なる者はこれによりてますます聖寵を加えられ、罪人もこれによりてその罪を赦されんことを。 救霊の源にまします三位一体の天主、

願わくはすべての霊をして、主をほめたたえしめ給え。われらに十字架の勝利を与え給いしによりて、その報いをも得しめ給え。アーメン。ああキリストよ、主は尊き十字架をもつて世をあがない給いしにより、われら主を礼拝し、主を讚美し奉る。

悲しみを極めませる聖母、われらのために祈り給え。キリストの御約束にわれらを適わしめ給え。

主よ、われらの主イエズス・キリストは主の一族なるわれらのために悪人の手にわたされ、十字架の苦しみを受くるをいと給わざりき。願わくは、主のこの一族を顧み給え。

主イエズス・キリスト、活ける天主の御子、主は世をあがなわんがために十字架にくぎ付けにせられ、かつわれらの罪の赦されんために御血を流し給えり。願わくは、われらをして死後喜びて、天国に入るを得しめ給え。

主イエズス・キリスト、主の御苦難の時に当りて、苦しみの剣は御

母なる童貞聖マリアの尊き御心を貫きたり。願わくは、聖母われらのために取り次ぎ、今も臨終の時も、いつも主の御あわれみを、われらのために求め給わんことをこいねがい奉る。アーメン。

われらのためにむち打たれ、十字架を担い、これにくぎ付けにせられ給いしわれらの主イエズス・キリスト、われらを祝し給わんことを願ひ奉る。アーメン。

ロザリオの祈

ロザリオの祈りは救世主と聖マリアの主な喜び、苦しみ、栄えの玄義を黙想しながら天使祝詞百五十回を唱える祈りである。天使祝詞十回が一連で、五連が一環となり三環で終る。一連毎に一玄義を黙想するからロザリオの十五玄義といわれる。メジユゴリエの聖母のメッセージでは一日に三環、十五玄義を唱えることが勧められている。一般に各連の唱え方は黙想する玄義を始めに唱え、大珠では主禱文、小珠では天使祝詞各一回

宛を唱え、終りに栄唱を唱える。栄唱の後にファティマの祈り「ああイエズスよ、我等の罪を赦し給え。我等を地獄の火より守り給え。また全ての靈魂、殊に主の御憐れみを最も必要とする靈魂を天国に導き給え。アーメン。」を加える。

喜びの玄義

第一玄義 この一連を献げて、聖母が御告げを受け給いたるを黙想し、その御取次によりてけんその徳をこいねがわん。

第二玄義 この一連を献げて、聖母がエリザベトを訪問し給いたるを黙想し、その御取次によりて人を愛する徳をこいねがわん。

第三玄義 この一連を献げて、主の降誕し給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて清貧の徳をこいねがわん。

第四玄義 この一連を献げて、聖母が潔めの式にあずかり、主を聖殿に献げ給いたるを黙想し、その御取次によりておきてを守る徳をこいねがわん。

第五玄義 この一連を献げて、聖母が主を聖殿に見出し給いたるを黙想し、その御取次によりて主を愛する徳をこいねがわん。

苦しみの玄義

第一玄義 この一連を献げて、主がゲツセマニの園にて死するばかり憂い給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて罪を痛悔する恵みをこいねがわん。

第二玄義 この一連を献げて、主がむち打たれ給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて罪を償う恵みをこいねがわん。

第三玄義 この一連を献げて、主がいばらの冠をかむらせられ給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて侮辱を恐れざる恵みをこいねがわん。

第四玄義 この一連を献げて、主が十字架を担い給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて苦難を甘んじ受くる恵みをこいねがわん。

第五玄義 この一連を献げて、主が十字架にくぎ付けにせられて死し給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて救霊の恵みをこいねがわん。

栄えの玄義

第一玄義 この一連を献げて、主の復活し給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて信仰の徳をこいねがわん。

第二玄義 この一連を献げて、主の昇天し給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて天国の福樂を深く望む心をこいねがわん。

第三玄義 この一連を献げて、聖霊の降臨し給いたるを黙想し、聖母の御取次によりて聖霊の賜物をこいねがわん。

第四玄義 この一連を献げて、聖母の被昇天を黙想し、その御取次によりてよき終りを遂ぐる恵みをこいねがわん。

第五玄義 この一連を献げて、聖母が天使と人類との元后に立てら

れ給いしを黙想し、その御取次によりて永福の冠をこいねがわん。

連 禱

イエズスの聖名の連禱

主あわれみ給え。 キリストあわれみ給え。

主あわれみ給え。

イエズスわれらの祈りを聴き給え。 イエズスわれらの祈りを聴き

容れ給え。

天主なる御父 同

天主にして世のあがない主なる御子 同

天主なる聖霊 同

唯一の天主なる聖三位 同

生ける天主の御子なるイエズス 同

御父の輝きなるイエズス 同

永遠の光明なるイエズス

栄えの王なるイエズス

正義の太陽なるイエズス

童貞マリアの御子なるイエズス

愛すべきイエズス

感ずべきイエズス

大能の天主なるイエズス

来世の父なるイエズス

御計画の使者なるイエズス

いとも力あるイエズス

いとも堅忍なるイエズス

いとも従順なるイエズス

心の柔和けんそんなるイエズス

操をよみするイエズス

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

われらを愛するイエズス

平和の天主なるイエズス

命の源なるイエズス

善徳の鑑みなるイエズス

靈魂を深く愛し給うイエズス

われらの天主なるイエズス

われらの依り頼み奉るイエズス

貧しき者の父なるイエズス

信者の宝なるイエズス

善き牧者なるイエズス

まことの光なるイエズス

永遠の知なるイエズス

限りなく仁慈なるイエズス

われらの道と命なるイエズス

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

天使の喜びなるイエズス

同

太祖の王なるイエズス

同

使徒の師なるイエズス

同

福音史家の師なるイエズス

同

殉教者の力なるイエズス

同

証聖者の光明なるイエズス

同

童貞者の清浄の源なるイエズス

同

諸聖人の冠なるイエズス

同

御あわれみを垂れて

イエズスわれらを救し給え。

御あわれみを垂れて

イエズスわれらの祈りを聴き容れ

給え。

すべての悪より

イエズスわれらを救い給え。

すべての罪より

同

御怒りより

同

悪魔のわなより

じゃいんの心より

終りなき死より

御勧めをないがしろにする心より

聖なる御託身の玄義によりて

御誕生によりて

御幼年によりて

いとも神聖なる御生活によりて

御労働によりて

御苦しみと御受難によりて

主の十字架と遺棄によりて

御死苦によりて

御死去と御葬りによりて

御復活によりて

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

御昇天によりて

同

聖体の御制定によりて

同

御喜びによりて

同

御栄えによりて

同

世の罪を除き給う天主の子羊

イエズスわれらを救し給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

イエズスわれらの祈りを聴き容れ

給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

イエズスわれらをあわれみ給え。

イエズスわれらの祈りを聴き給え。

イエズスわれらの祈りを聴き容

れ給え。

祈願　主イエズス・キリスト、主は『なんじら求めよ、さらば与え

られん。尋ねよ、さらば見出さん。たたけよ、さらば開かれん』と宣

えり。こいねがわくは、われらをして主のいと神聖なる愛に感ぜしめ、

専ら心と言葉と行いとをもって主を愛し、絶えず讚美するを得しめ給

え。

主よ、御身は御慈愛によりて造り給いしわれらを司り給えば、願わくはわれらをして、常に聖名を敬い愛せしめ給え。とこしえに活きかつしろしめし給う主に願ひ奉る。アーメン。

イエズスの聖心の連禱

主あわれみ給え。

キリストあわれみ給え。

主あわれみ給え。

キリストわれらの祈りを聴き給え。

キリストわれらの祈りを

聴き容れ給え。

天主なる御父

われらをあわれみ給え。

天主にして世のあがない主なる御子

同

天主なる聖霊

同

唯一の天主なる聖三位

同

永遠の聖父の御子なるイエズスの聖心

聖霊によりて童貞母の御胎内に造られたるイエズスの聖心

限りなき威光あるイエズスの聖心

天主の聖堂なるイエズスの聖心

いと高き御者の住居なるイエズスの聖心

天主の家、天の門なるイエズスの聖心

愛熱の燃ゆるかまどなるイエズスの聖心

義と愛との宝蔵なるイエズスの聖心

慈しみと愛とに充ち満てるイエズスの聖心

よろずの徳のふちなるイエズスの聖心

いとも賞めたたうべきイエズスの聖心

すべての心の王にしてかつ中心なるイエズスの聖心

えいちと知識とのすべての宝を含めるイエズスの聖心

神性の充ち満てるイエズスの聖心

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

御父の御旨に適い給うイエズスの聖心

われらに聖寵のあふれをこうむらせ給うイエズスの聖心

永遠の丘の希望なるイエズスの聖心

忍耐と慈悲とに富めるイエズスの聖心

すべて依り頼む者に対して恵みゆたかなるイエズスの聖心

命と聖徳との泉なるイエズスの聖心

われらの罪のあがないなるイエズスの聖心

辱しめに飽かされたるイエズスの聖心

われらの罪のために碎かれたるイエズスの聖心

死にいたるまで従順なりしイエズスの聖心

やりにて貫かれたるイエズスの聖心

すべての慰めの泉なるイエズスの聖心

われらの命と復活なるイエズスの聖心

われらの平安とわぼくなるイエズスの聖心

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

罪人のいけにえなるイエズスの聖心

同

御身に希望し奉る者の救いなるイエズスの聖心

同

御身によりて死する者の希望なるイエズスの聖心

同

諸聖人の楽しみなるイエズスの聖心

同

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらを救し給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらの祈りを聴き容れ給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらをあわれみ給え。

心の柔和けんそんなるイエズス

われらの心を聖心にあやからしめ

給え。

祈願 全能永遠にまします天主、いと慈しみ給う御子の聖心をみそ

なわし、罪人のために主の献げ給う讚美と償いとを顧み給いて、これ

になだめられ、御あわれみを求め奉る者に赦しを賜わらんことを。聖

霊と共にとこしえに生きかつしろしめし給う天主なる御子イエズス・

キリストの聖名○によりて願ひ奉る。

アーメン。

聖マリアの連禱

主あわれみ給え。

主あわれみ給え。

キリストわれらの祈りを聴き給え。

キリストあわれみ給え。

キリストわれらの祈りを

聴き容れ給え。

われらをあわれみ給え。

天主なる御父

天主にして世のあがない主なる御子

同

天主なる聖靈

同

唯一の天主なる聖三位

同

聖マリア

われらのために祈り給え。

天主の聖母

同

童貞のうちにていと聖なる童貞

同

キリストの御母

同

天主の聖寵の御母

いと潔き御母

いと操正しき御母

終生童貞なる御母

きずなき御母

愛すべき御母

感ずべき御母

善き勧めを賜う御母

創造主の御母

救世主の御母

いとも賢明なる童貞

敬うべき童貞

誉むべき童貞

力ある童貞

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

寛仁なる童貞

信実なる童貞

正義の鑑み

上智の座

われらが喜びの源

靈妙なる器

崇むべき器

信心のすぐれたる器

くすしきばらの花

ダヴィドの塔

象げの塔

黄金の堂

契約のひつ

天の門

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

暁の星

病人の快復

罪人の抛り所

憂き人の慰め

キリスト信者の助け

天使の元后

太祖の元后

預言者の元后

使徒の元后

殉教者の元后

証聖者の元后

童貞者の元后

諸聖人の元后

原罪なく宿りし元后

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

被昇天の元后

同

いと尊き口ザリオの元后

同

平和の元后

同

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらを赦し給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらの祈りを聴き容れ給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらをあわれみ給え。

天主の聖母われらのために祈り給え。

キリストの御約束にわれらを

適わしめ給え。

祈願 主よ、主のしもべなるわれらに精神と肉身とのたえざる健康を与え給え。かつ終生童貞なる聖マリアの御取次によりて、この世にはもろもろの悲しみを逃れしめ、後の世にては永遠の楽しみを受くることを得しめ給え。われらの主キリストによりて願ひ奉る。アーメン。

聖ヨゼフの連禱

主あわれみ給え。

主あわれみ給え。

キリストわれらの祈りを聴き給え。

キリストあわれみ給え。

キリストわれらの祈りを聴

き容れ給え。

われらをあわれみ給え。

天主なる御父

天主にして世のあがない主なる御子

同

天主なる聖靈

同

唯一の天主なる聖三位

同

聖マリア

われらのために祈り給え。

聖ヨゼフ

同

ダヴィドの誉高き末

同

太祖の光明

同

天主の聖母の淨配

童貞マリアの操正しき守護者

天主の御子の養育者

キリストの注意深き保護者

聖家族の長

いと正義なるヨゼフ

いと貞潔なるヨゼフ

いと賢明なるヨゼフ

いと勇氣あるヨゼフ

いと従順なるヨゼフ

いと信実なるヨゼフ

忍耐の鑑

清貧の愛好者

職人の模範

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

家庭生活の誉

童貞の守護者

家庭の柱石

不幸なる者の慰め

病める者の希望

死に臨める者の擁護者

悪魔の恐れ

聖なる公会の保護者

世の罪を除き給う天主の子羊

世の罪を除き給う天主の子羊

世の罪を除き給う天主の子羊

天主かれを立てておのが一家の長と定め、

宰らしめ給えり。

そのすべての持ち物を

同

同

同

同

同

同

同

同

主われらを救し給え。

主われらの祈りを聴き容れ給え。

主われらをあわれみ給え。

祈願 絶妙なる御摂理により聖ヨゼフを至聖なる御母の浄配として

選び給いたる天主、こいねがわくは地上においてかれを保護者と尊敬し奉るわれらをして、かれを天上における代禱者としていただくにふさわしき者たらしめ給え。とこしえに活きかつしろしめし給う主に願ひ奉る。　アーメン。

諸聖人の連禱

主あわれみ給え。

キリストあわれみ給え。

主あわれみ給え。

キリストわれらの祈りを聴き給え。

キリストわれらの祈りを聴

き容れ給え。

天主なる御父

われらをあわれみ給え。

天主にして世のあがない主なる御子

同

天主なる聖霊

同

唯一の天主なる聖三位

同

聖マリア

天主の聖母

童貞のうちにていとも聖なる童貞

聖ミカエル

聖ガブリエル

聖なるすべての天使および大天使

洗者聖ヨハネ

聖ヨゼフ

聖なるすべての太祖および預言者

聖ペトロ

聖パウロ

聖アンドレア

聖ヤコボ

聖ヨハネ

われらのために祈り給え。

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

聖トマ

聖ヤコボ

聖フィリッポ

聖バルトロメオ

聖マテオ

聖シモン

聖タデオ

聖マチア

聖バルナバ

聖ルカ

聖マルコ

聖なるすべての使徒および福音史家

主の聖なるすべての弟子

聖なる罪なきみどりこ

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

聖ステファノ

聖ラウレンシオ

聖ヴィンセンシオ

聖ファビアノおよび聖セバスチアノ

聖ヨハネおよび聖パウロ

聖コスマおよび聖ダミアノ

聖ジェルバジオおよび聖プロタジオ

聖なるすべての殉教者

聖シルヴェストロ

聖グレゴリオ

聖アンブロジオ

聖アウグスチノ

聖イエロニモ

聖マルチノ

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

聖ニコラオ

聖なるすべての司教および証聖者

聖なるすべての博士

聖アントニオ

聖ベネディクト

聖ベルナルド

聖ドミニコ

聖フランシスコ

聖なるすべての司祭および侍祭

聖なるすべての修士および隠修士

聖マリア・マグダレナ

聖アカタ

聖ルチア

聖アグネス

同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

聖セシリア

同

聖カタリナ

同

聖アナスタジア

同

聖なるすべての童貞およびやもめ

同

天主のすべての聖人および聖女

われらのために取次をなし給え。

御あわれみを垂れて

主われらを救し給え。

御あわれみを垂れて

主われらの祈りを聴き容れ給え。

すべての悪より

主われらを救い給え。

御怒りより

同

不測の急死より

同

悪魔のわなより

同

怒り、憎み、その他すべての悪意より

同

じゃいんの心より

同

落雷および暴風より

同

地震の災難より

疫病、ききんおよび戦争より

終りなき死より

聖なる御託身の玄義によりて

御降世によりて

御誕生によりて

主の後受洗と聖なる御断食によりて

主の十字架と御受難によりて

御死去と御葬りによりて

聖なる御復活によりて

崇むべき御昇天によりて

慰め主なる聖霊の御降臨によりて

審判の日において

われら罪人なれども

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

主われらの祈りを聴き給え。

願わくはわれらを赦し給わんことを

同

願わくはわれに御あわれみを垂れ給わんことを

同

願わくはわれらをまことの改心に導き給わんことを

同

願わくは主の聖なる公教会を治めかつ保ち給わんことを

同

願わくは教皇と公教会の諸階級とを聖なる教えのうちに永く保ち給わんことを

同

願わくは聖なる公教会の敵を恥じ服せしめ給わんことを

同

願わくは主を信ずる元首と諸候とに太平を降し、皆同心一致ならしめ給わんことを

同

願わくは主を信ずる民に平和と一致とを与え給わんことを

同

願わくはすべての迷える者を公教会の一致に呼び戻し、またすべての教外者を福音の光に導き給わんことを

同

願わくはわれらを主の聖役に強めかつ保ち給わんことを

同

願わくはわれらの心を高く揚げて天上を望ましめ給わんことを

同

願わくはわれらのすべての恩人に、無窮の幸いをもって報い給わんことを

同

願わくはわれらおよびわれらの兄弟、親族、恩人の靈魂を永遠の罰より救い給わんことを

同

願わくは地の百穀を与え、かつこれを保ち給わんことを

同

願わくはすでに世を去りたるすべての信者に、終りなき安息を与え給わんことを

同

願わくはわれらの祈りを聴き容れ給わんことを

同

天主の御子

願わくはわれらの祈りを聴き容れ給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらを赦し給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらの祈りを聴き容れ給え。

世の罪を除き給う天主の子羊

主われらをあわれみ給え。

キリストわれらの祈りを聴き給え

キリストわれらの祈りを聴き容れ

給え。

主あわれみ給え。

キリストあわれみ給え。

主あわれみ給え。

主祷文 一回

祈願 全能永遠なる天主、われら主のすべての聖人の勲をばここに
讚美し奉る。願わくは、かくもおびただしき天使聖人たちの御取次に
よりて、ゆたかなる御恵みをわれらに与え給え。われらの主キリスト
によりて願ひ奉る。アーメン。

底本では各祈りの後に（ 年）と、免償の年が記載されていましたが、今回ファイルに落とすにあたりその部分を省略しました。

一九五九年度版のため、現在の典礼と異なる記述の部分があります。確認の上、ご使用ください。

salveregina.virtualave.net